

地域医療構想調整会議の議事概要 報告書

(呉) 地域保健対策協議会

<p>会議の実施日時</p>	<p>平成 29 年 10 月 27 日 (金) 13 : 30 ~ 14 : 21 平成 29 年度 第 2 回呉地域保健対策協議会企画調整委員会及び第 2 回呉地域医療構想調整会議 合同会議</p>
<p>議題 1 (呉地域保健医療計画素案について)</p>	
<p>(事務局) 呉地域保健医療計画素案 (案) について説明した。</p> <p>※了承された。県本庁医療介護計画課へ提出する。</p>	
<p>議題 2 (ひろしま高齢者プラン呉圏域版素案について)</p>	
<p>(事務局) ひろしま高齢者プラン呉圏域版素案 (案) について説明した。</p> <p>※了承された。県本庁医療介護計画課へ提出する。</p>	
<p>議題 3 (地域医療構想調整会議の運営について)</p>	
<p>(事務局) 「公的医療機関等 2025 プラン」の趣旨等について説明した。また「平成 29 年度 病床機能報告 報告マニュアル①」により、医療機能の選択に当たっての考え方 (病棟の患者構成イメージ、留意点等) について、説明した。</p> <p>(会長) 今回の意向調査結果により、他院がどのようなことを考えているのかを知っていただいて、それを基に自院はどうするのかを考えていただきたい。</p> <p>(委員) 介護医療院は 12 月頃に大体の輪郭が出てくる。次の介護計画にも係わってくるので、慢性期の病院としては、現在は情報待ちの状態である。</p> <p>(委員) 結局は、各病院で自立できるように頑張っていくしかない。調査結果は参考にさせていただく。</p> <p>(委員) 診療報酬の改定案が出てこないと検討ができない。</p> <p>(委員) 取りあえず「公的医療機関等 2025 プラン」は作成したが、もう少し様子を見ないと具体的にどう動いてよいか分からないというのが現状である。</p> <p>(委員) 現在の医療体制を守っていくよう頑張っていきたい。ただ、国の全体の方針がバラバラと出てくる状態の中で、どのように議論を進めていくか難しいところである。</p> <p>(委員) 回復期リハや地域包括ケア病棟への転換に係る基金については、もう少し使いやすい基準にして欲しい。有床診療所や中小病院の転換の選択肢が広がるのはうれしいことである。</p> <p>(委員) 島嶼部などでは、地域事情やスタッフの確保が困難なために慢性期を選択している病院が多いと思うが、急性期から慢性期までをカバーしているのに、病床機能報告では慢性期としてしか報告できないのは大変不都合である。</p> <p>(委員) 市民の方々が困らないように、地域包括ケアの問題と絡めて検討していくべきだと感じた。</p>	